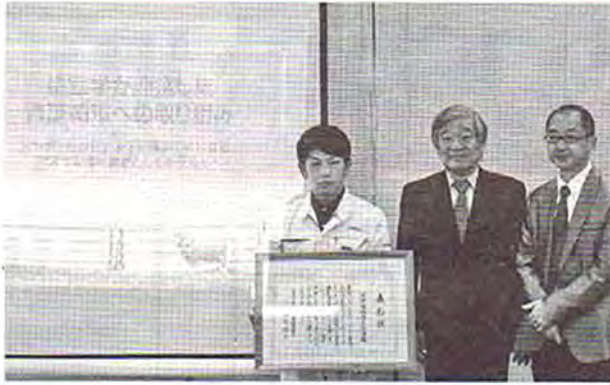


### 3R推進活動で会長賞を受賞

## 星野建設(株)が地元で活動を報告

雲仙復興事務所



先月、東京で開催された「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」において、会長賞を受賞した星野建設(株) (島原市・星野親房代表取締役)は7日、国交省・雲仙復興事務所

で報告会を行った。今回、星野建設(株)が受賞した取り組みのテーマは、ヤギ・ヒツジのライフサイクルを中心

とした3R活動。この活動を、「島原地域の資源を最大限に活用し、産官学が連携して地域の活性化を目指している」として、雲仙復興事務所が高く評価し、今回の功労者表彰に推薦した。

報告会には、雲仙復興事務所の田村圭司所長をはじめ職員らが参加。星野建設(株)土木工事部の中田大和さんが説明に立ち、同社が進めているヤギ・ヒツジの放牧による公用地の除草活動や、アオサの再生利用(飼料)、さらには動物を通じた交



流とエコ教育活動―等、現在も進めている3R活動を報告した。報告会の終了後、田村所長は「地域に生きる建設業ならではの取り組み。今後もさまざまな広がり、波及が望めるのでは」と期待を見せた。また、児玉幸三建設専門官は「3R活動の中でも、非常に稀有な取り組みと見える。これからも循環型社会の形成に継続的に

貢献してほしい」と活動にエールを贈った。星野社長は「我々のよき地域に密着している建設業が、島原の活性化に誇りを感じる。今後もしっかりと活動を通じて、地域と触れ合ってきた」と語った。